

あなたと議会を結ぶ



No.194

令和元年7月25日
発行

あいづばんげ

議会だより



「人と種をつなぐ会津伝統野菜の会」の紹介

設立年 平成26年3月より

活動内容 会津農林高校では、5年前から先輩たちが生産農家と「人と種をつなぐ会津伝統野菜の会」を立ち上げ、会津伝統野菜の栽培から普及活動を行い、現在では計20種類の種を保存し、シードバンク的な役割を果たしている。
現在は、会津伝統野菜を希少な野菜から需要のある野菜へとブランド化を確立するために、「安心安全な栽培方法の普及・確立」「販路拡大や認知度向上」「6次化商品開発や経営改善」の3つの活動目標のもと、最終的に会津伝統野菜を未来へつなげることを目指し、高校生が主体的に活動を展開している。

福島県立会津農林高等学校 農業園芸科
2年8名 3年8名 計16名
担当教員 小林好次・今田沙織
(学校 TEL 0242-83-4115)

ばんげの宝 【人と種をつなぐ会津伝統野菜の会】

第2回定例会(6月議会)目次

ココに注目!

「国民健康保険税率を引き上げ(2P)」

「風評被害対策に600万円計上(3P)」

◆予算・議案の審議・結果 …… 2～5 P

◆8人が町政を問う(一般質問) …… 6～10 P

◆福島第一原発視察報告 …… 11 P

◆表彰・みなさんの声・編集後記 …… 12 P

安定的な事業運営を目指して 国民健康保険税率を引き上げ

国民健康保険税率（前年度比較表）

		平成30年度	令和元年度	(増減率)
医療分	所得割	6.84%	7.23%	5.70%
	均等割	24,300円	24,900円	2.47%
	平等割	19,100円	19,700円	3.14%
支援分	所得割	2.52%	2.76%	9.52%
	均等割	8,800円	8,900円	1.14%
	平等割	6,900円	7,100円	2.90%
介護分	所得割	2.34%	2.61%	11.54%
	均等割	11,100円	11,300円	1.80%
	平等割	5,100円	5,800円	13.73%
		平成30年度	令和元年度	(増減率)
国民健康保険税 (総額)		349,499千円	366,882千円	4.97%

※平成30年の所得に対して、平成30年度と令和元年度の税率をそれぞれの計算した合計額

第2回 (6月) 定例会

6月6日から6月14日までの9日間の会期で開催され、条例の改正2件、令和元年度一般会計補正予算及び各特別会計補正予算7件、追加案件1件、合計10件の議案が町長より提案されました。町長提出議案については6月14日に採決し審議の結果、すべて原案のとおり可決しました。

また、10日と11日に一般質問が行われ8名の議員が登壇し町政について質問しました。さらに12日には各常任委員会を開き提出議案、事業の進捗状況について審議しました。本定例会中、請願4件が付託され、1件が趣旨採択、2件が採択となり、関係省庁へ意見書を提出することになりました。以下、主な内容をお知らせします。

前年度比約5%アップ

国民健康保険税条例の 一部を改正する条例

国民健康保険の適正かつ安定的な事業運営ができるように、町条例を改正しました。

本算定により令和元年度に必要な国民健康保険税額を確定し、税率等の改正を行い、条例の整理をしました。

県が示す標準保険料率を参考に、国保事業に要する費用等を積算し、国保事業に係る収入を差し引いた額を国民健康保険税で賄う必要があります。

現行の税率では費用を確保できないため、今回の改正により、前年度比で4.97%引き上げました。

万全な除雪に向けて

小型除雪車の取得

児童生徒の安全な通学路を確保するため、町道歩道延長16kmの除雪作業を万全に進めるとともに、路線バス運行区間の狭隘町道路線に係る除雪作業の迅速化を進めるため、小型除雪車を国の社会資本整備総合交付金を活用し、新規に取得しました。



種類：1.3m級
金額：2,079万円

風評被害対策に600万円計上



桜国屋(姉妹都市の埼玉県北本市)にて、会津坂下産PR販売が実施される

主なものは、人事異動に伴う人件費の増減、プレミアム付き商品券事業費、幼児教育・保育の無償化に伴うシステム改修費、消費者風評対策市町村支援事業交付金を活用した、物産等販売促進費及び、会津伝統野菜PR事業費の増額に伴う費用を計上しました。

4463万6千円を追加する補正予算。

一般会計補正予算(第1号)

プレミアム付き
商品券などを計上

令和元年度一般会計補正予算(第1号)の主な内容

会計名	補正前	補正額	補正後
一般会計 補正予算(第1号)	68億 8,900万円	4,463万6千円	69億 3,363万6千円

<歳出事業の主な増減の内容>

①プレミアム付き商品券	1,500万円	増
②保育料無償に伴うシステム改修費	803万円	増
③ふくしま米オール“特A”獲得推進事業補助金	400万円	増
④風評対策PRの委託料増	600万円	増
⑤橋りょう整備事業	1,800万円	増
⑥各特別会計への繰出金	459万円	減
⑦予防接種の委託料減	775万円	減
⑧道路橋点検業務の委託料減	1,350万円	減



一般会計補正予算に関する主な質疑・答弁



風評対策PRの委託事業について

Q：県の補助金があるとはいえ、今後、持続可能なPR対策をどのように講じていくのか。

A：この事業は、県から全額補助される事業であり、県補助の打ち切り時期や関東圏における福島県産の農産物に対する風評状況を見極めながら、今後も姉妹都市である埼玉県北本市の桜国屋を拠点とした会津坂下町農産物のPR活動に取り組んでいく。

プレミアム付商品券の概要について

Q：プレミアム付商品券の概要は。

A：消費税率引き上げが低所得者と子育て世帯の消費に与える影響を緩和するとともに、地域における消費喚起・下支えするためにプレミアム付商品券を国が全額補助し販売。
非課税世帯と子育て世帯に対して、20%のプレミアムを付けた商品券5,000円分を1冊4,000円で販売する。最大5冊まで購入できる。販売(使用)期間は10月1日～翌年2月末の見込み。

配水管修繕工事 などを計上

令和元年度水道事業会計
補正予算（第1号）

既決予定額4億6941万
8千円に1118万3千円を
増額し、4億8060万1千
円とします。

主なものは、人事異動に伴
う人件費及び前年度に支出し
た工事の支出予算科目誤りに
伴う過年度損益修正損、並び
に、坂下配水場圧力タンク周
り配水管修繕工事費を計上し
ました。

佐藤宗太議員

反対

平成29年度の不適切
な会計などがあり、「対
策を講じ適切な会計に
努める」と公言したに
も関わらず、今定例会
におきましても不適切
事務処理により今補正
予算に特別損失が計上
されることになりました。
再三申し上げており
ますが適切な会計に努
められることを切に願
います。

請願の審査

請願 番号	受理 年月日	件 名	請願者氏名	紹介 議員	付託 委員会	審査 結果
第1号	令和元年 5月30日	地方財政の充実・強化を求める意見 書提出請願書	日本労働組合総連合会福島 県連合会両沼地区連合会 議長 古川 一夫	渡部 正司 小畑 博司	総務	採択
第2号	令和元年 5月30日	教職員の長時間過密労働の解消に 向けた意見書提出を求める請願書	福島県教職員組合両沼支部 支部長 横田 恵一	横山 智代 小畑 博司	文教 厚生	趣旨 採択
第3号	令和元年 5月30日	「ふくしま学力調査」中止の意見書 提出を求める請願書	福島県教職員組合両沼支部 支部長 横田 恵一	横山 智代 小畑 博司	文教 厚生	不採択
第4号	令和元年 5月30日	「令和2年度及び復興・創生期間後 も国の『被災児童生徒就学支援等 事業』の継続と被災児童生徒の十分 な就学支援を求める意見書」の提出 を求める請願書	福島県教職員組合 中央執行委員長 角田 政志 福島県教職員組合両沼支部 支部長 横田 恵一	小畑 博司 横山 智代	文教 厚生	採択

請願について私はこう考える

討 論



反対

小畑博司議員

年度初めの忙しい時期に、
一週間おきに二回の学力テス
トが実施され、生徒・児童・
教師の両方にとって大きな負
担であったとの訴えでありま
す。教育長より、このテスト
やアンケート実施について意
義などの説明もありましたが、
教育現場が混乱しないように、
当議会としては、本請願を
採択すべきものと考えます。

反対

横山智代議員

児童・生徒は授業中だ
けでなく、毎日の宿題や
長期休業中においても学
力向上のためのドリル・
プリント問題づくめで大
変です。
学校や自治体を競わせ、
子ども達を追い詰め、教
育を歪める「ふくしま学
力調査」は中止すべきで
す。

反対

横山智代議員

一人ひとりの子ども達を大事にし、
向き合う教育活動を困難にしている
教職員労働の実態。
長時間過密労働により心身を病ん
だり、亡くなる教員も相次いでいま
す。
教職員定数増が改善策です。教員、
子ども達のため、請願を採択すべき
です。

反対

小畑博司議員

本請願は、教育現場の教師たちが
ら出されております。国も長時間労
働を改善しなければならぬとの認
識を示してはおりますが、何ら解決
をしておりません。事務職を含め、
現場の教員を増やすことが解決の道
だと訴えておりますので、当議会と
しても趣旨採決ではなく、意見書を
提出すべきです。

反対

五十嵐一夫議員

本請願は、教
職員の長時間過
密労働の解消に
向けた意見書を
提出していただ
きたいというも
のです。
請願の趣旨の
文言の云々より
も、現実の過密
労働の現状を素
直に理解すべき
ものであり、解
消に向け請願は
採択すべきもの
であります。

請願第2号委員長報告の「趣旨採択」に対する討論

請願第3号委員長報告の「不採択」に対する討論

審議案件に対する賛否の状況（賛否が分かれた議案）

件名	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16
	物江 政博	赤城 大地	横山 智代	渡部 正司	小畑 博司	佐藤 宗太	山口 享	三橋 薫	青木 美貴子	五十嵐 正康	渡部 順子	五十嵐 一夫	水野 孝一	酒井 育子	猪俣 恒雄	古川 庄平
会津坂下町国民健康保険税条例の一部を改正する条例	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長
令和元年度会津坂下町坂下東第一地区土地区画整理事業特別会計補正予算（第1号）	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長
令和元年度会津坂下町水道事業会計補正予算（第1号）	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長
上記以外の議案は賛成全員で可決しました。 ○：賛成 ×：反対 欠：欠席 議長は採決に加わりません																



令和元年 第1回臨時会

5月23日に開催された臨時議会において、専決処分の報告2件、条例改正4件、一般会計補正予算1件、工事請負契約の締結1件について、審議し、すべて可決しました。

審議したその他の議案

専決処分

○会津坂下町国民健康保険税条例の一部を改正する条例

○会津坂下町ひとり親家庭医療費の助成に関する条例の一部を改正する条例

令和元年度補正予算

○国民健康保険特別会計（第1号）

○介護保険特別会計（第1号）

○下水道事業特別会計（第1号）

○農業集落排水事業特別会計（第1号）

その他

○財産の取得について（小型除雪車 P2参照）

【審議した議案名】

条例改正

○職員の給与に関する条例の一部を改正する条例

○会津坂下町税条例等の一部を改正する条例

○職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部を改正する条例

○会津坂下町清掃施設条例の一部を改正する条例

補正予算

○平成30年度会津坂下町一般会計（第6号）

その他

○工事請負契約の締結について（坂下中学校空調設備設置工事…7014万円）



エアコンの設置工事が
始まる坂下中学校

一般質問

町政を問う

6月定例会では、8人の議員が一般質問を行い、2日間にわたり活発な議論を展開しました。質問と答弁を要約した内容は、7ページから10ページです。

なお、一般質問を録画した動画を町ホームページまたはYouTubeでご覧になれます。

五十嵐一夫議員（P 7上）

- 坂下町居住外国人との交流をしよう
- 大型店、元旦は休みましょう
- DMO^{※1}との関わり観光事業誘客体制について
- 「いじめ問題」と「道の駅」騒動の町執行について

※注1

DMOとは、Destination Management／Marketing Organizationの略。

戦略策定、各種調査、マーケティング、商品造成、プロモーション等を一体的に実施する、主に米国・欧州で見られる組織体のこと。

青木美貴子議員（P 7下）

- 人口減少による組織の在り方について
- 住民と財政難における信頼関係について
- 財政が正常化した時、どんな町づくりを考えているか
- ふるさと納税の在り方について

赤城大地議員（P 8上）

- 若者の移住定住促進に係る取り組みについて
- 急増する外国籍の労働者への対応について

三橋薫議員（P 8下）

- 町長の政治姿勢について
- 子どもと高齢者を守る対策について
- 観光行政について

横山智代議員（P 9上）

- 教育行政について
- 職員の人材育成、適材適所の配置について
- ごみの減量化について

佐藤宗太議員（P 9下）

- 産業について
- 町民サービスの向上について
- 福島県立坂下高等学校再編の影響について

小畑博司議員（P 10上）

- 新庁舎建設をどのように位置づけるか
- 多面的支払交付金事業中山間地等直接支払事業の一部凍結について何う
- 超過勤務が増えているようだが、どのように考えているか
- 地域おこし協力隊員を活用しないのはなぜか

渡部正司議員（P 10下）

- 町活性の状況や雰囲気等をどのように評価しているか
- 上記に応える具体的な向上策をどのように考えるか
- 「財政健全化アクションプラン」の中身は
- 歳入増への取り組みについて

※一般質問・・・議員が町の行財政全般にわたり、事務の執行状況や将来に対する方針を聞き、疑問点を質すこと。会津坂下町議会では質問答弁を含めて、1人50分以内としています。



五十嵐一夫議員

元旦営業について問う

働き方改革の趣旨を、

尊重・周知していきます

問

元旦くらいは初詣や新年を家族と過ごすのが日本の正月の姿であり、元旦には当町の大型店においては、従業員の福利厚生を第一に、「元旦は休みましょう」と町からお願いしていただけないでしょうか。

答

企業においても、労働者の多様化する働き方に対応し、生産性向上とともに従業員の満足度向上に向けた努力が求められています。

働き方改革の趣旨を尊重し、労働者が、個々の実情に応じた働き方を通し、より良い将来の展望を持てるよう、企業や町民に対し積極的に制度の趣旨等を周知してまいります。

居住外国人との交流する考えは

共存共生に向け交流を促進します

問

坂下町居住外国人との交流をしよう。今坂下町には多くの外国人が居住しています。故郷を離れ家族の為、自分自身の能力向上など大変努力をし、優秀な方であります。

答

これをチャンスと捉えれば、町の賑わい・活性にもつながるのではないかと。今後はより一層、居住外国人が日本の文化に親しみながら、地域の祭りや国際交流イベント、防災訓練への参加など、住民同士の交流を促進する機会を創り、地域社会の住民として互いに「顔の見える」関係を構築していきます。



町の賑わいに、万国旗も掲揚しては

これも質問

観光事業体制が整っているのか。

インバウンド施策が課題です。

「いじめ問題」裁判の事務的損失は、現時点では不確定です。

答



青木美貴子議員

人口減少による各組織の在り方

地域課題を共有できる体制づくりに

取り組んでいきます

問

人口減が進む中、各地区の区長などの成り手不足が問題化されているが組織再編も含め、どう捉えているか。

答

町がしっかりと地域を支え、住民の暮らしを守っていくために、も地区内の組織のあり方・役割を検討していく必要があると認識しております。また、消防団、民生児童委員、その他の団体についても、各地区地域づくり協議会を中心に行政区との連携を図り地域課題をみんなで共有できる体制づくりに取り組んでまいりたいと考えております。

財政難における住民との信頼関係について

町民と行政が一体となつての創生

問

町財政難により、住民の夢・希望が失われ、信用性も疑われていく。住民との信頼関係をどう築きあげていくのか。

答

町民と行政は一体のものであり、町民の不安を真摯に受け止め、

これも質問

ふるさと納税の在り方について。

本町独自のサービス等も加えながら、返礼品の充実を図ります。

答



求められている区長自治会長の負担軽減



赤城 大地議員

外国籍の方の住民投票権は

現段階では付与いたしません

問 急増する外国籍労働者と共生するためにどのような取り組みをしているか伺う。

答 現在、本町で生活している外国籍の方は、令和元年5月31日現在で159名であります。町としては共生していくために国際交流協会による日本語教室や、災害対応のパンフレット等を配布するなどしており、ゴミの分別についても各行政区から苦情があった場合は、派遣会社の担当者へ連絡し対応していただくなどしております。

問 住民投票権について町の見解を伺う。

答 住民投票については、「会津坂下町まちづくり基本条例」において定められております。全国の自治体における条例設置状況をみますと、18歳未満の者や外国人に投票権を与えている市町村も見受けられますが、外国人の要件としての多くは、永住者や特別永住者へ限定したものです。住民投票すべき案件については、

様々な政策や事案があり、その事案ごとに設定すべき年齢等の要件が変わってくるものと思われませんが、現在の在留外国人の方の多くは特定活動等の在留期間が限定された方々であることから、一律に外国籍の方への住民投票権を付与することは考えておりません。



外国人実習生へ会津坂下町のルール説明

これも質問

問 若者定住施策の進捗は。

答 目標を達成している現状です。引き続き実施してまいります。



三橋 薫議員

町の方向性と将来像を問う

会津西部の中心的存在を目指します

問 町の持続発展策を問う。

答 会津圏域への企業誘致による働く場の創出や移住・定住促進による地域の賑わいと経済活動を維持させるため、隣接する町村と連携を図り、会津西部地域の中心的存在として発展を目指します。

問 庁舎建設の計画の見直しは。

答 町全体の事業見直しと、財政健全化へ向けたアクションプランを策定し、新庁舎建設を最重点事業に位置づけ、実現に向け検討作業を行います。

事故・虐待防止策を問う

関係団体との連携を強化する

問 高齢者の運転免許返納者数と交通事故防止策を問う。

答 平成27年38件、28年28件、29年50件の運転免許返納があり、返納した方へは、交通手段の確

保策として路線バスの回数券の交付や証明書の提示によるタクシー運賃割引の優遇制度等、返納しやすい環境づくりを図りながら、交通安全思想の周知徹底や安全装置を搭載した車の紹介も行ってまいります。

問 虐待防止と対応を問う。



みんなで守ろう交通安全

答 平成30年度における児童虐待と疑われる件数は延べ3件、高齢者は延べ18件であり、防止マニュアルの策定、情報収集、確認、児童相談所との連携を強化してまいります。



横山 智代議員

職員の適材適所への配置、活用は

個々の能力を活かせるよう努めます

問 職員の適材適所への配置、活用をどのように進めているのか。

答 計画された職員数の中で、行政組織を活性化し、職員の職務意欲を喚起するため、職員の能力を活かした適材適所への配置・活用は、大変重要であると認識しております。職員の配置につきましては、異動等を申告する自己申告書に基づき、職員一人ひとりと面談を実施し、職員としての目標や意欲等を把握した上で、適材適所への配置・活用に努めているところであります。

「ごみゼロばんげ」の取り組みは循環型社会の構築に取り組みます

問 「ごみゼロばんげ」の取り組みと今後の取り組みについて伺う。

答 ごみの有料化以降、家庭系ごみの全体量については若干減少しておりますが、一人あたりのごみの量は年々増加している傾向にあります。ごみ処理費用は平成30年度実績で約1



佐藤 宗太議員

県立高等学校再編についての考えは

機会をとらえて町の思いを県へ伝えます

問 坂下高校、会津農林高校の再編の影響と県教育委員会に対して働きかけを行う考えは。

答 地域に与える影響として、长期的にボランティアとして町の事業に参加する高校生が減少することや、町に若者の姿が目に見えなくなる機会が減少する事で活性がなくなつたように感じられる状況が発生する事を懸念します。機会をとらえ県知事、県教育委員会に対し思いを伝えてまいります。

町民サービスの向上策は

問 職員の質の向上がサービスに直結すると考える

答 当町の中長期的なサービスの向上策と町民の利便性を高めるために役場を土日開所する考えはないか。ハード面の整備だけでなく、職員の質の向上が町民サービスに直結すると考えます。また土日開所については維持経費を要することや「働き方改革」を推進する意味においても考えておりません。



再編される予定の県立坂下高等学校

問 証明書等のコンビニ交付についてはどのように考えるか。

答 コンビニ交付は取扱手数料と多額なシステム導入、維持経費が大きな障害となっております。導入費用5076万円、毎月の保守点検費用49万5千円、その他コンビニ手数料が別途発生します。費用に見合った利用効果が見込めないものと考え、郵便請求、日直による休日交付等、現状可能な方法で対応してまいります。



最資源に向けゴミ減量

問 「福島県学力調査」の今後の対応は。

答 今年度新たに行った調査です。今後も継続してまいります。



小畑 博司議員

財政健全化推進が町民サービスの低下につながることはない
町民サービスの低下となっている部分もあると思うがご理解をお願いします

問 新庁舎建設を延期して財政健全化を推進することだが、町民サービスの低下につながってはならない。

答 新庁舎建設は今の最重要事業であり、継続している。また、町民サービスの低下となっている部分もあると思うが、ご理解をお願いします。

問 一般会計当初予算も、四苦八苦している状況では、新庁舎など諦め、生徒児童数の推移を見ながら、既存建物の活用に切り替えるべきではないか。

答 新庁舎の建設位置は現庁舎付近と決定していることを尊重し再度検討することとなります。また、教育施設の活用についての検討は、時期尚早であります。

中山間直接支払・多面的支払の両事業一部凍結は地域の切り捨てか
財政健全化のための苦渋の選択です

問 中山間地は災害も多く、突然の事業凍結は、国策を放棄すること

とつながる。中山間地を切り捨てるのか。

答 財政健全化を進めるための苦渋の選択です。また、5年後には再開します。国策を放棄したわけではありません。



中山間地区の棚田（束松地区）

これも質問
超過勤務の現状は。

答 昨年度より超過勤務時間は減少しております。

問 地域おこし協力隊について。

答 有効な取り組みであり、継続して検討してまいります。



渡部 正司議員

町活性の状況をどうみているか
不安感を与えたとすれば
申し訳なく思います

問 現在の町活性の状況や有り様をどのようにみているか。また、町民の評価をどう受け止め、どのように応えるのか。

答 厳しい財政運営の中、庁舎建設延期や各地区からの要望等にも充分に対応できない状況など、皆様には町の将来に対する不安感を与え、大変申し訳なく思っております。信頼を取り戻し、夢や希望が持てるまちづく



補修されず劣化が進む幹線道（牛沢）

りを進めていくには、町民と行政は一体と認識し、地域の課題に対応して町民が抱える不安を真摯に受け止め、その解決に向けて努力することが必要であり、行政の役割と考えております。財政健全化を最優先にしながら、次期振興計画において、地域づくりのあり方や今後のまちづくりの方向を示し、町民と行政が一体となって創生していきたいと考えております。

町民へ何を求めるか
所得向上や受益者負担にご理解を

問 町民へ何を求め、町民の役割をどのように考えているか。

答 個々の所得の向上を図っていただくことが、町の自主財源の確保、活性化につながると考えます。使用料等の受益者負担にもご理解いただく必要があります。

今こそ「協働」の精神が必要であり、町民の皆様には、役割を担っていただきたいと考えております。



廃炉の現状について聞く

8年前の3月11日に何が起こき、その後どのような経過をたどっているか、東京電力福島第一原子力発電所の現状を、自らの目で検証すべく、会津坂下町議会として、現地視察を実施しました。

原発の視察は、マスク着用、青い防護服のイメージがありますが、近年では発電所敷地内の約96%のエリアが通常の作業服で仕事ができる労働環境となり、構内で働く約3千5百人が利用するコンビニや食堂も設置され、近年では外国人や学生、一般の方による視察も増えているようです。

ただし、集団見学のみで個人の申込みは受付していません。

6/24 廃炉作業を、自らの目で検証

敷地内には8年前の地震、津波による生々しい痕跡が残っている現場を視察、また事故を起こした原子炉建屋周辺はいまだ高線量を示しており、燃料や溶け落ちた燃料デブリの取り出し、解体、汚染水対策と今後30年以上続くと言われる廃炉作業、これまでは報道を通してのみ伝えられた原発事故の状況を、自らの目でしっかりと検証する事が、風評被害の払拭に一役買うものであると感じました。



事故を起こした原子炉建屋周辺

5/22 もっと読まれる議会広報紙づくりを学ぶ



議会報編集特別委員会は、郡山市「ビッグパレットふくしま」で開催された「町村議会広報研修会」に参加しました。

講師は、議会広報アドバイザー 芳野政明氏で「議会活動が伝わり住民に役立つ、効果のある議会だよりの編集」をテーマに、他議会の広報紙を用いながら、編集技術や改善点について学びました。





議会傍聴に参加して

金上 小池 時江

今回は初めて参加して最初
に感じたのが自分が思い描いて
いたより傍聴席が狭く議場が近
く感じました。議員の方々の質
問が始まり町側が答弁する姿や
雰囲気や表情が見えてとても良
かったです。

最初の質問は坂下町居住外国
人との交流でした。それから大
型店元旦は休みましょう、DM
O候補、いじめ問題と道の駅の
質問でした。

次の議員の質問は人口減少に
よる組織の在り方についてと財
政難についての内容でした。三
人目の議員の質問は若者の移住・
定住に係る取り組みについてと
急増する外国籍の労働者への対
応についての内容でした。

議員の方から「3月の予算案
の時に来てみたら」と言われた
ので是非傍聴させて頂きたいと
思ってきました。選挙の時だけ
でなく議員の方々が議会では何
をされているのか、どのように質
問されているのかぜひ機会を
作って議会傍聴されてみてはい
かがでしょうか。



金上地区の熟年大学と老人クラブ合同で議会傍聴



長年の功労により 表彰されました。

福島県自治特別功労者表彰
(議会議員20年以上在職)



五十嵐一夫議員・古川庄平議員

福島県自治功労者表彰
(議会議員11年以上在職)



渡部順子議員・五十嵐正康議員

第2回定例会の一般質問録画配信中

議会基本条例に基づき、町民に開かれた議会を推進するため
一般質問を録画配信しています。

町のホームページまたはYouTubeでご覧になれます。



議会傍聴へおいで下さい

令和元年第3回定例会は、9月5日から18日までの会期(予定)です。
一般質問は9月9日(月)、10日(火)午前10時開会予定です。

編集後記

元号が「令和」に変わ
り、町民の皆様には、この
「議会報」が届く頃には、
新しい時代がスタートし
て三ヶ月を迎えようとし
ています。

振り返れば、平成の時
代は、災害が多く、その
印象が深く残るように思
われてなりません。

令和になって初めての
定例会であり、活発な質
問がなされました。

人口減少は、大きな問
題であります。町民の
健康増進も見逃す事ので
きない問題です。

今や人生百年時代と言
われる昨今、安心して老
後を迎えられ、一人ひと
りが自信を持って誇れる
町を、町民の皆様と行政、
議会が一体となり、創っ
ていきたいと考えます。

(委員 酒井育子)

議会報編集特別委員会

委員長	猪俣 恒雄
副委員長	赤城 大地
委員	横山 智代
委員	三橋 薫
委員	五十嵐正康
委員	酒井 育子



※ 本誌掲載記事写真等の無断転載を禁じます。